

一 般 質 問

門議員

勝山の観光拠点を生かした交通の流れの創造について

問 従来の勝山の路線バス体系は、観光客を対象とはしておらず、勝山駅とサンプラザ及び社会保険病院の3拠点を中心にして、各地域へと伸びている。ここに水芭蕉・かつやま恐竜の森を路線につけ加えることで、路線バスの運行形態で観光客への利便性を提供し、観光客を取り込んで路線バスの収益を改善できるのではないか。

答 勝山市のバス路線は、市内観光バス「ダイナゴン」、生活路線バス及びコミュニティバス「ぐるりん」があるが、各バス路線で対象者や目的が異なっているため、慎重に検討しなければ現在利用している方への影響が懸念される。またバス運行については、距離に応じた単価契約を行っているため、運行距離が延びるほど勝山市からの支出が多くなる。

費用対効果を考え勝山市のバス交通を全体的に捉える中で検討し、平成27年度からのバス交通の全面改正に向け協議していく。

その他の質問
・かつやま散策ルートの中の駐車場の整備について

かつやま恐竜の森の現状と問題点の解消について

問 かつやま恐竜の森の敷地内に野外恐竜博物館への専用シャトルバスの発着基地を想定しているようであるが、駐車場の確保、券売機前と入場口前の混雑の解消、現在のバス停留所の乱雑さや自動販売機の乱立、勝山市内で昼食を食べられるレストランや土産物を販売する場所の確保等、観光客への利便性を提供する便益施設を建設すべきと思われるが市の方針を問う。

答 今後、県から示される野外博物館の管理運営方法や本年度実施した博物館前の物販などを検証してまとめていく。



コミュニティバスぐるりん

加藤議員

産業廃棄物の対応について

問 新体育館の工事現場から大量の産業廃棄物が見つかったが、現場は平成16年に産業廃棄物の不法投棄事件があった場所である。

① 当該場所を市が購入した時、現場は不法投棄事件があった場所と知っていたか、県への確認を怠ったのではないか。

② 廃棄物の撤去と処理について、今後どうするつもりか。

③ 当該場所には有害物質があるのではないか、特に地下水への影響がないか、専門家の調査が必要である。また、汚染された土はどう処理するのか。

④ 廃棄物の掘削、撤去、処理等に要する費用はどれくらいか、その費用はだれが負担するのか。

⑤ 瑕疵担保責任によれば、前の土地所有者に費用を請求できるが、市の考えはどうか。

⑥ 平成16年当時、県がいい加減な処理をしたことが今回の廃棄物が出た原因である。県の責任において当該場所を含む全域の調査を行うべきである。

答 ① 平成16年度に不法投棄違反事件が発生し、県警察本部、県、市が連携、協力のもと、刑事事件として処理されていることから、平成16年に発生した廃棄物については、既に完結している

その他の質問
・市民交流センターの改修について
・社会保障「改革」について
・消費税増税について

ものと認識していた。また、県の実施した水質調査についても問題はないとの報告を受けており、改めて県に対して廃棄物の有無等の確認はしていない。

② 今後、県において、廃棄物投棄者の特定調査を実施し、その結果を踏まえた上で、法的手続きに基づき廃棄物の処理を行っていく。

③ 県の指導に基づき廃棄物の影響があるエリアを特定し、土壌汚染等の調査を行う考えである。

④ 廃棄物の種類と総量を確認する必要があり、現在、県の指導の下で掘削作業を進めている。処理費用の負担責任者についても、現在、県が調査を進めており、その結果を踏まえ適切に処理したいと考えている。

⑤ 今後、法的なことについて研究していく。

⑥ 県の指導の下、現在、掘削作業を進めており、処理費用の負担責任についても県が調査を進めている。

その結果を踏まえて適切に対処したい。



掘り出された産業廃棄物